

ノーマ・ろうあ被爆者

長崎ローア・ドキュメンタリー劇画

写真(中・下) 坂口忠男



(昭和十一年十二月十四日) 館本 長崎市立歴史資料館蔵



池田杉男著 (ろうあ者)

協力・長崎県ろうあ福祉協会



ノーマ・ろうあ被爆者

池田杉男 著

「ノーモア・ろうあ被爆者」の発行によせて

このたび、長崎在住のろうあ青年が、耳の聞こえない仲間達に41年前の被爆の実相を伝えるため、浦上天主堂にほど近かった県立盲啞学校を中心に訪ね歩き、被爆体験を根底にすえた同じろうあ者の苦難の道の一つ一つたどりながら、構想をまとめられ、好きだった劇画という手法でもって、ここに立派にまとめられたことに心から敬意を表すものであります。一読していただくならば、必ずや活字を越えて感動を呼び起こす事でしょう。

ともすれば私たちはあの日の狂暴な火の海を、天地をゆるがした爆風を、悪魔の放射線を忘れ、平和であることがあたり前だと思いがちです。

私たちがナガサキ・ヒロシマの痛みを次代を担う方々に語り継ぐことは、現在・未来の平和に対し、人類の存続に対して責任を持つことだと考えるものであります。

ややもすれば、平和という言葉の意義の重大さを見失いつつある今日、ろうあ者のためにと本誌が発行されたことは誠に貴重な行為であれ、何はともあり、多くの仲間の方々に筆者の労作が読み継がれることを心から願ってやみません。

昭和六十一年十月

長崎市長 本島 等

戦争を知らない友だちに、原爆を体験していない人々に、劇画でより多くの人たちに伝えようとする人類愛に満ちた美しい心に感動しています。不自由な身で困難にめげず、出版までに努力されたことは、読者のみなさまをいっそう勇気づけることと確信します。原爆被爆者のひとりとして著者の池田君に負けないよう、いままで以上に世界平和のため、核戦争をさせないため、核兵器完全禁止国際条約の締結をめざして努力します。この劇画がひとりでも多くの方々に読んでいただくことを強く希望して出版のごあいさつと致します。

再び被爆者をつくらないために。

長崎を最後の被爆地とさせるために。

一九八六年十月

財団法人 長崎原爆被災者協議会

会長 山口 仙二



(左から池田杉男、山口仙二さん)

はじめに

長崎に原子爆弾が投下されて、四十一年もの長い月日が過ぎ去りましたが、今なお病氣とたたか
いながら不安な生活をしている被爆者の方達がたくさんおられます。
私は昨年仲間のろうあ者の方から悲惨な被爆体験をきいて、大へんな驚きとショックを受けまし
た。ろうあ障害をもった上に、被爆の苦痛を受けられたことを思うと体験をした人達がだんだん少
なくなっていく時、地獄のような被爆の実態をその目で見たろうあ者の貴重な体験は、なんとか記録
しておきたいと思いついてきました。それから次々と本や資料をさがし、特に登場人物になつて下
さった方達には直接お会いして、くわしくお話をききました。そしてこれを表現する方法として私
の以前から好きだった劇画を通して書くことをきめて昨年の十一月から帰宅してから夜の時間
に少しづつ書いてきました。出来るだけ体験の事実にとって想像しながら、ろうあ学校の歴史なども
考えながら書きました。文章や話しことばにまちがいや稚拙さが多いと思いますが絵を見てたのし
んでいただければ幸いです。
今年には国際平和年です。このような戦争が二度とおこらないように、私自身クリスチャン（佐世
保ローア・バプテスト教会会員）の立場としても心から祈っています。
この劇画を書くに当たって左記の著書や機関誌、資料などを参考にさせていただきました。又、印刷、
被爆体験を語って下さった方やいろいろ助言をいただいた手話通訳者（宮本美子さん）、又、印刷、
ワープロ（宮本光子さん）などで協力して下さいました方達に、深く感謝しています。

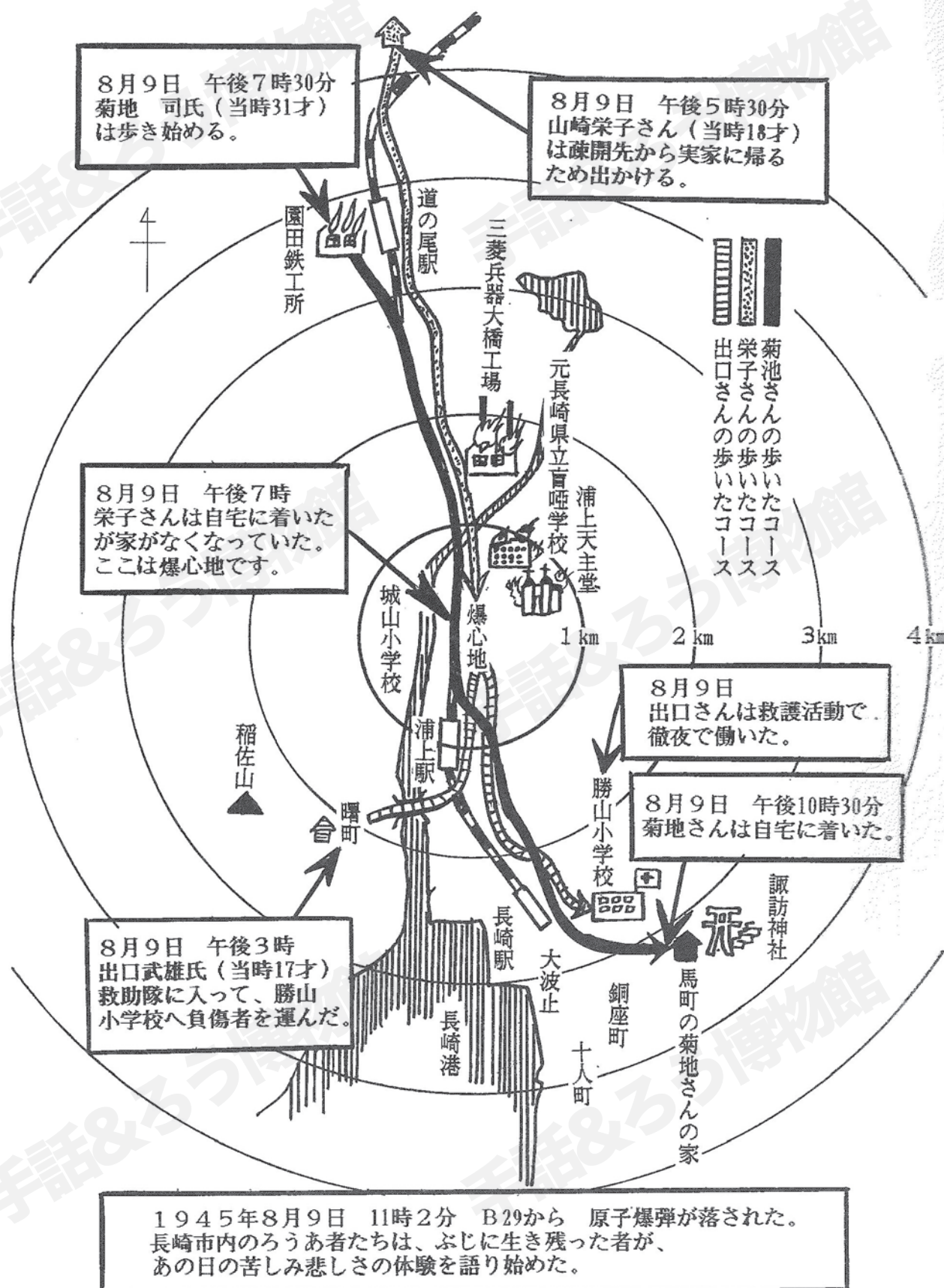
○手話通訳問題研究・第23号
第24号
第25号

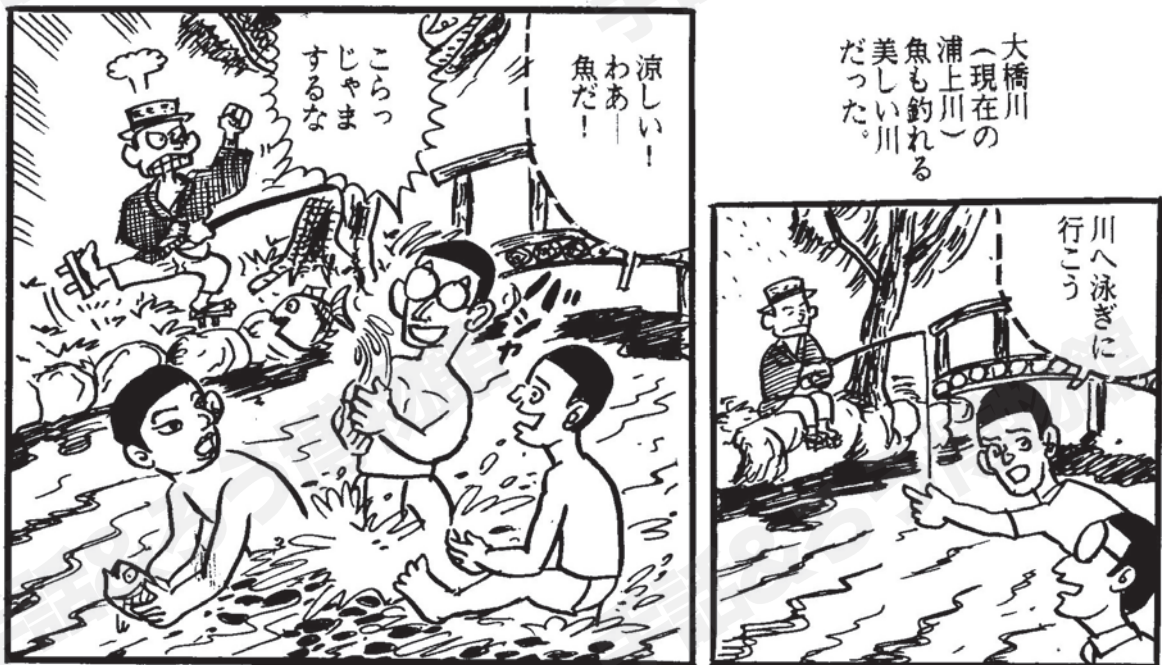
あの日8月9日 私は爆心地を……
地獄図から今なお 頭を駆けめぐる……
二度となかごと、せんばいけん……
菊地 司
出口武雄
山崎栄子

手話通訳・聞き書き（全通研長崎支部）

○『ながさき・原爆の記録』 ○『あの日ナガサキ』 ○原爆展
○『永井隆の生涯』 ○『この子を残して』 ○『ヘレンケラー』（ポプラ社文庫）
○八十年のあゆみ（長崎県立ろう学校）

（昭和四十九年 長崎県立ろう学校卒業） 池田 杉男







日本国民は、みんな天皇陛下をうやまわなければならぬ



日本で一番えらい方だ。神様と同じです



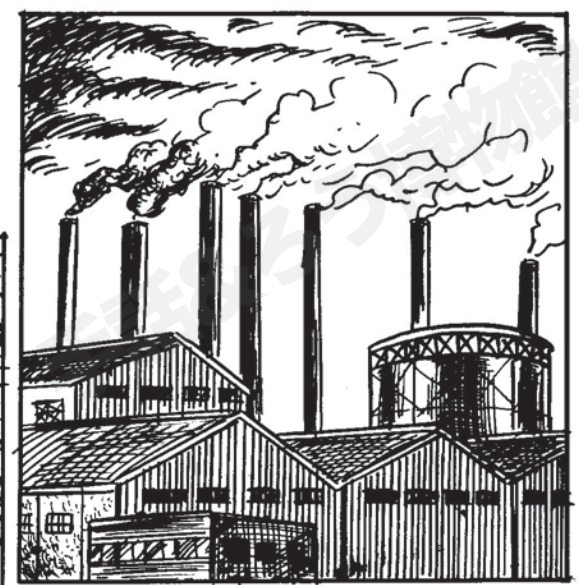
ローア学生達は普通学生との試合に負けずがんばった



上級生は下級生をきびしくしごいた

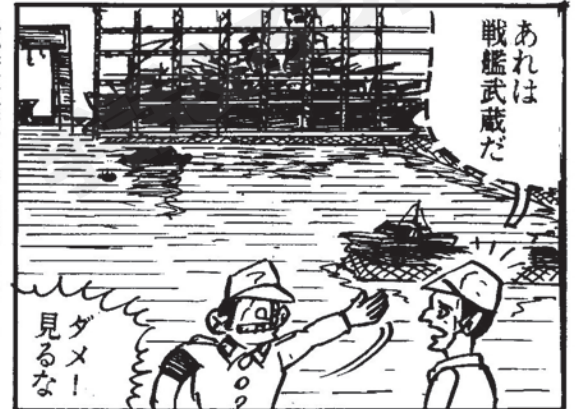


学校のまわりに防空壕を作った



戦前の長崎市内の三菱兵器製作所。昭和十四年からすべて軍の命令で生産された。働いた人は一七七九二人。

或るローア者菊地 司さん。大正三年生まれ。昭和七年に盲啞学校を卒業し、昭和十六年道の尾の園田鉄工所で魚雷、兵器を作っていた。



あれは戦艦武蔵だ

戦艦武蔵は管理がきびしく見ることは出来なかった



昭和十八年、菊地さんは結婚

前よりあがって30円だよかった

給料をもらってきたよ



今日も又サツマイモなの

栄子！戦争中だからしんぼうして食べなさい



(注)・ろうあ者の手話の話は点線です。

毎日戦争ばかりで不安だ

戦争

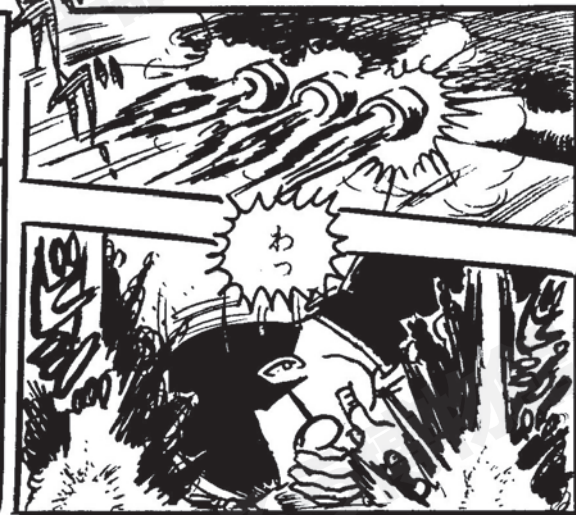


赤レンガの浦上刑務所だね

現在の平和公園



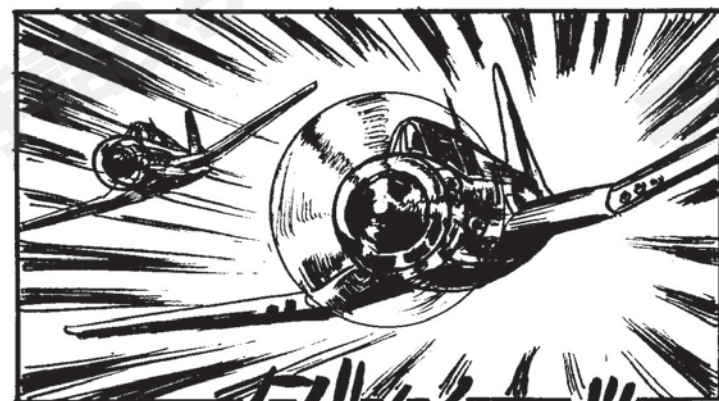
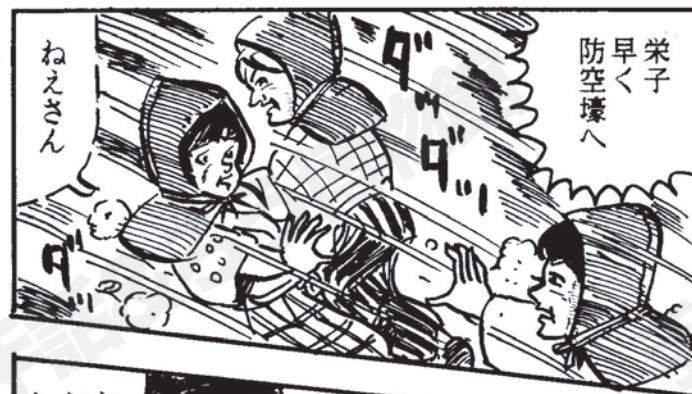
女子挺身隊の女学生だ



卒業式と同時に
盲啞学校を
兵器工場にするために
改装工場が始まり、
朝鮮人が多数入った。
ローア者は二人だけ。
(出口、安達)



昭和二十年三月
出口さんは
卒業したので
盲啞学校が
加津佐町
(島原半島)の
仮校舎に
転移したことを
知らない。



大波止に、B29来襲後、
又、戦闘機が飛んで来た。

飛行機が
遠くて高射砲が
とどかない

昭和十九年、冬、
B29来襲、警報が
鳴りひびく。





だめだ！
読むな

原爆投下前にB29から
ポツダム宣言のビラが
まかれた。



憲兵の下で
きびしい
管理だ。

出口さんは香焼工場で憲兵が命令して、
外人捕虜（千二百人）と一緒に働いた。



安くて
いい

延焼防止のため
とりこわした
材木を下さい



二時間
かかって

時津の山へ



耳の聞こえん
娘だけでも
どうしても
やりたい
疎開させよう

うん
よろしい



疲れた
ここで泊まるよ

八月八日まで
半分程出来上がった



時津の山で



いつか
別れるかも
しれないね

戦争に
勝ったら
会おう

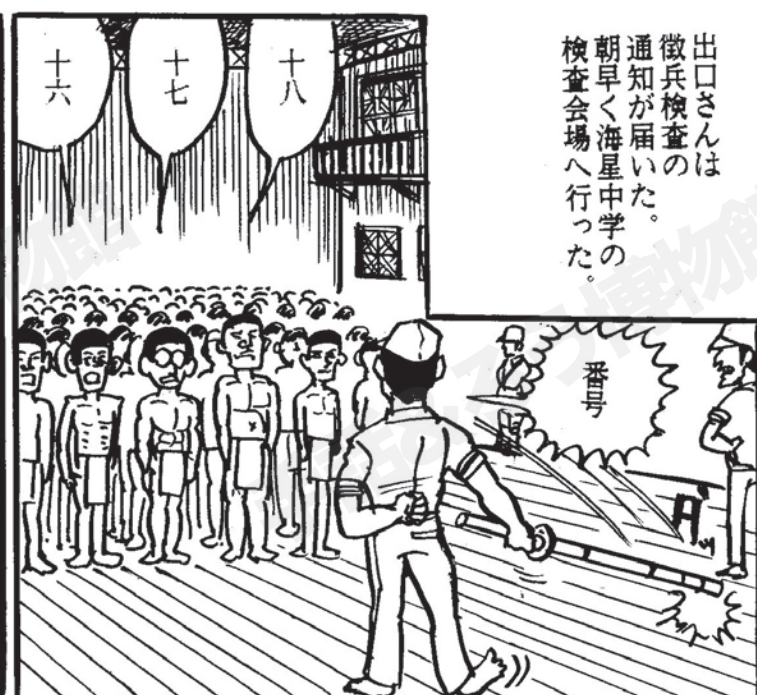
安達さんは原爆症で死んだ。



ろう学校が
工場になった
アメリカを
やっつける



なに
耳が聞こえ
ない？



出口さんは
徴兵検査の
通知が届いた。
朝早く海星中学の
検査会場へ行った。



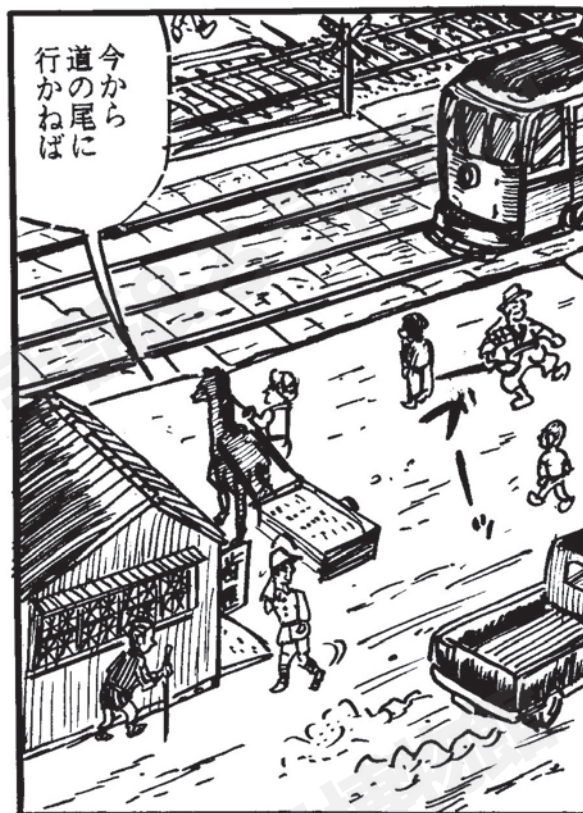
本当だった
耳が
きこえなくて
無理だ
兵役免除！



兵役逃れか
許さん！

八月九日、朝、青い空のとても暑い日、長崎市内の人口は二十四万人ぐらい。ローア者たちは、広島原爆のことを知らない人が多かった。ラジオ、新聞は、日本の勝利というその発表が続いていた。

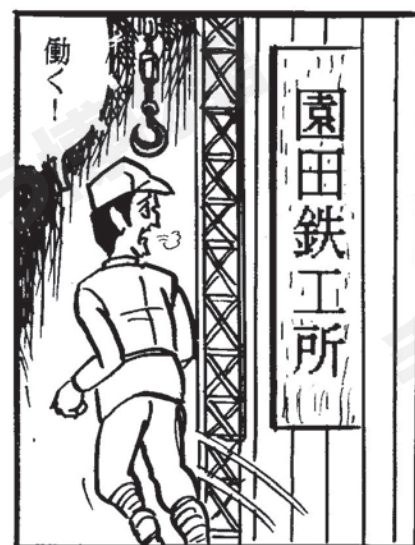
十時、菊地さんは、松山町（原爆地）の歯科医院から、歯の治療を終わって、



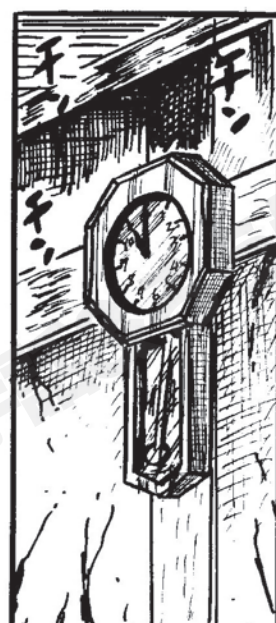
午前十時四十五分ぐらい。原爆落下直前、長崎駅を出発する最後の列車だった。



事故でくれたもうすぐ11時だ



菊地さんの話
もし、事故でもっと長く停車して、松山町の爆心地近くにいたら、生きてはいないはずだ。







1945年8月9日 午前11時2分、アメリカはB29から
原子爆弾をおとす。
松山町171番地の上空約500メートルで炸裂、その時の
死者73884名(1945.12.31までの死亡者数)といわれる。





在校性は、加津佐の校舎に移転していた。あるローア者は、加津佐で原爆のきのこ雲を見た。

栄子さんは爆心地までたぶん、5 km ぐらい。時津の山のおかげで無事に助かった。



長崎はたいへんだ
爆弾が落ちたらしい



母さん
だいじようぶ

だいじようぶか
子供がけがしている
早く防空場へ！



何が何だかわからん
爆風で井戸の屋根が落ちてきた
逃げまわる人たちがみんな屋根の上を通ってひどいことだ



すごい。町中火の海だ。初めてみた

父のことが心配だ
さがしに行こう
父さん、どうか無事でいて下さい



出口さんは爆心地から2 km。(曙町)



山崎さんは銅座町で和裁の仕事、(爆心地から3.4 km)



あつB29がみえた！

あるローア者坂口忠男さん昭和十八年、盲啞学校卒業生。爆心地から3.8 km (十人町)で被爆。ローア者の山本さんの家で閃光の時、びっくりして、外に出た。きのこ雲を立ったまま見ていた。

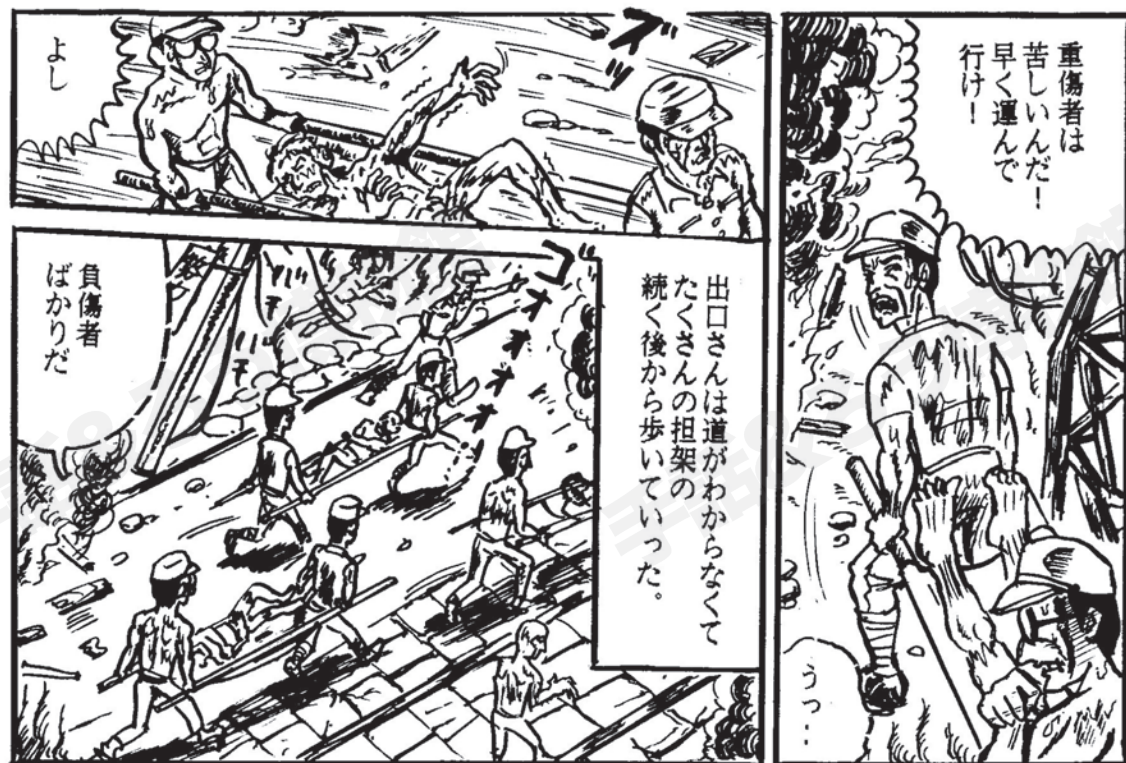


おかしいぞ
上は青い空だ
向こうは、すごいきのこ雲だ。



はやく逃げる！

かくれる早く



恐怖心のために地面の熱さは全く感じなかった。汗をかいた記憶もありません。



さあ、みんな、水を飲みなさい



うっ水を飲んだらすぐ死んでしまった



きやーっ

午後五時、小屋を作り上げて道の尾近くで、栄子さんは初めて惨状を見てびっくりした

原爆投下後、道の尾—長崎は不通。救援列車が道の尾駅に到着し、当日四回にわたり負傷者を運んだ。



勝山小学校は運ばれたに負傷者たちでいっぱいになった。



なんてすごい。火傷やけが人でとても大変！忙しい！

体中のやけどで、のどがかわいた人々は次々に浦上川にとびこんだ川は血の海となった。



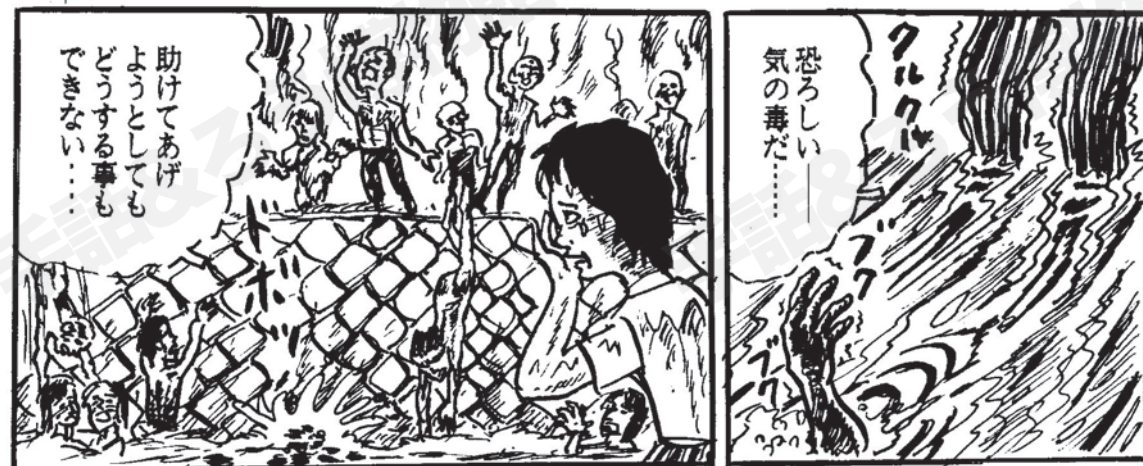
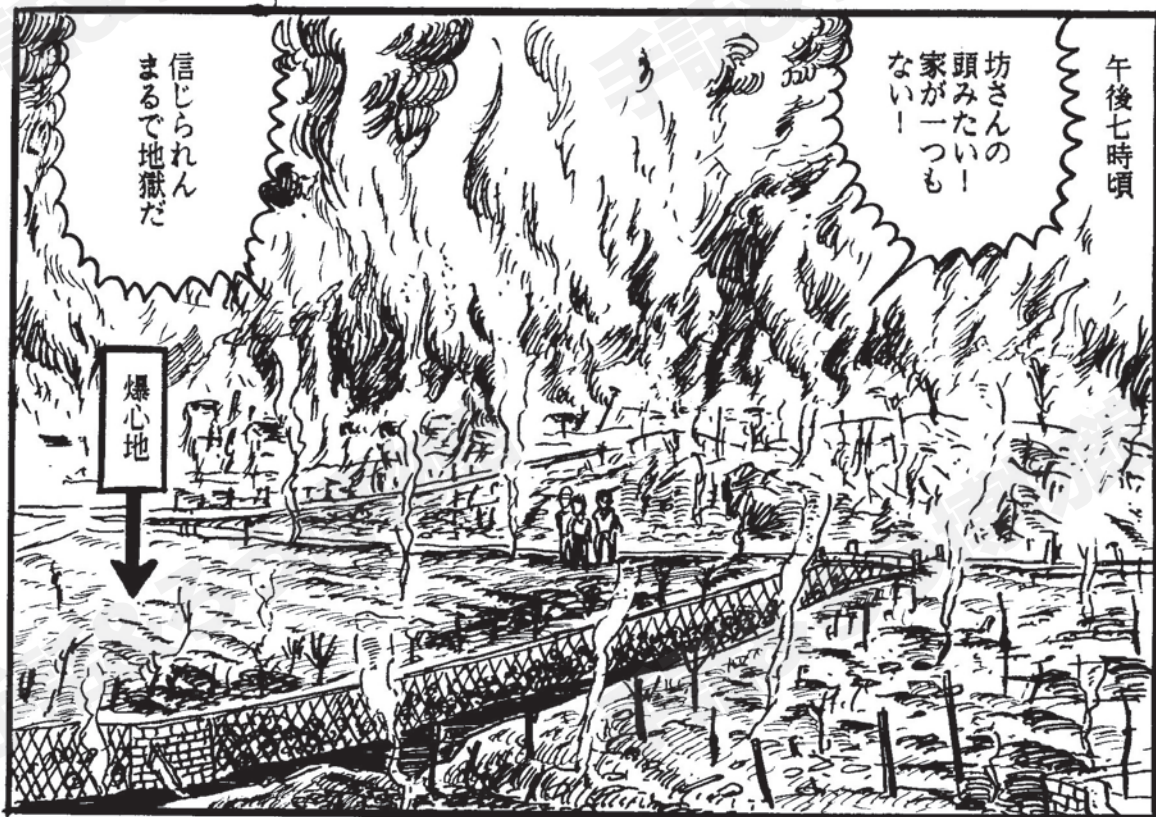
なんとかかわいそうな人たちが



けが人の出血が止まらない気分が悪い！どうしたらいいんだ。



くそっ下駄がやけて熱くてたまらん





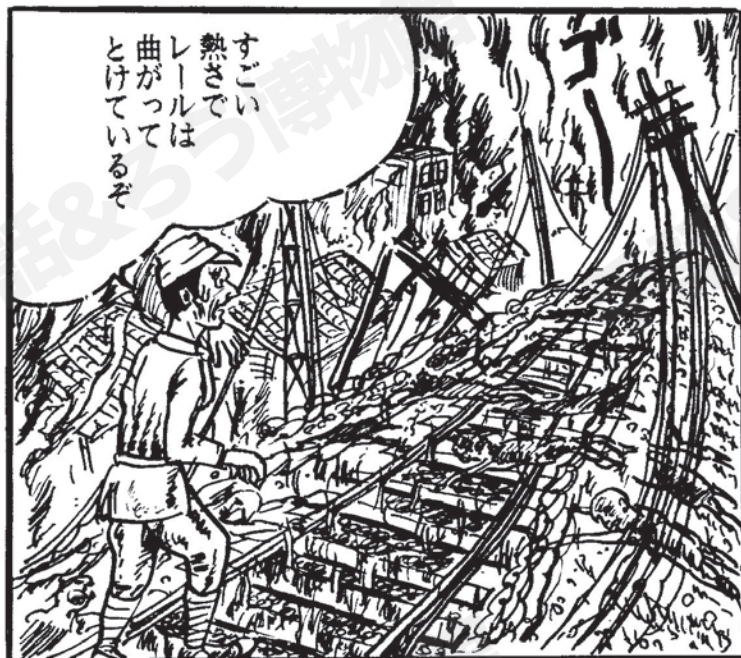
時津へ
かえろう



水が汚れて
飲めない！



私たちが
いっしょに
死にたいよ
娘も死んだと
やろう、もう
何もない



すごい
熱さで
レールは
曲がっ
ていて
は

午後7時30分頃
背中が痛くて菊地さんは
道の尾の工場から出た。



家内と子供は
どうしたか
心配だ
早く帰ろう



投下の時 驚いた顔を
そのまま空を仰ぎ
両手両足を空に向け
無残な姿だ



娘は！



あんなに
たくさん
家や木が
あったのに



娘は
どうした

姉さん



父は一生懸命に
さがした



ダメだ
娘も
死んだ
一緒に
死ねのか



足も
やけど

かだいし



わっ



※ 菊池さんと出口さんは百メートルを十二秒で走るスポーツマンです。



死体ばかりで
もう見たくない



たすけて
もう
どうするかも
出来ない



驚いた、電線が
爆風で切れて
下がっている



熱い
頭がボーンと
なった



河の中を
死体が
流れる
線路の上を
行くしかない



30mの大橋
鉄橋を渡ろう



すごい臭い
げえーっ



足が熱い！
地熱50度以上



サーカス
みたいだ
な



底の厚い登山靴を
はいてよかった
素足ならば歩けない

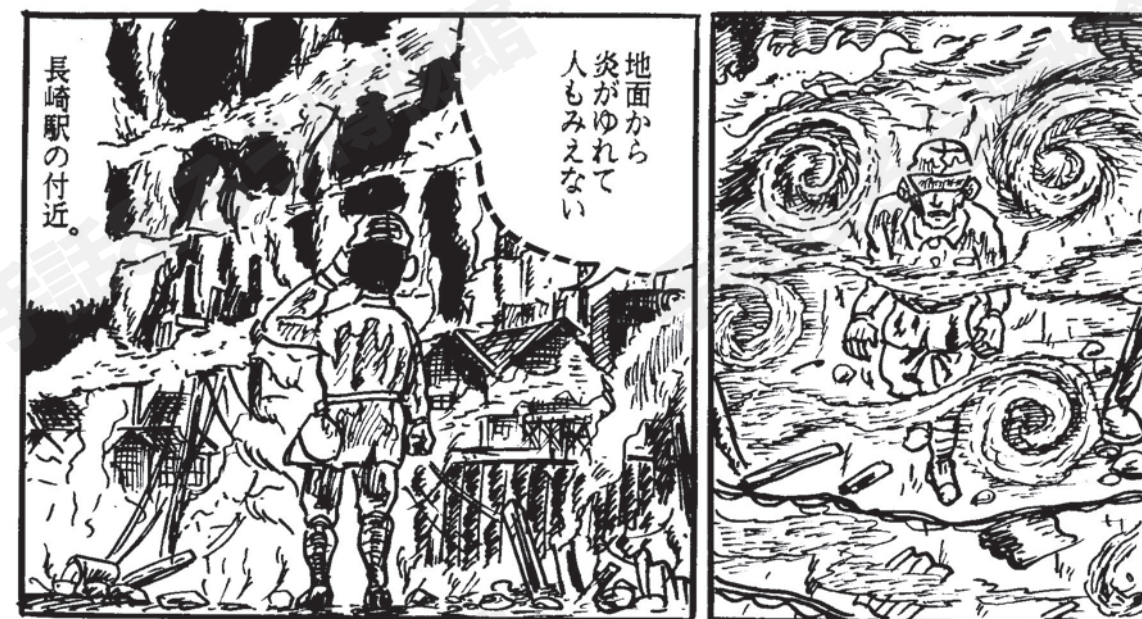
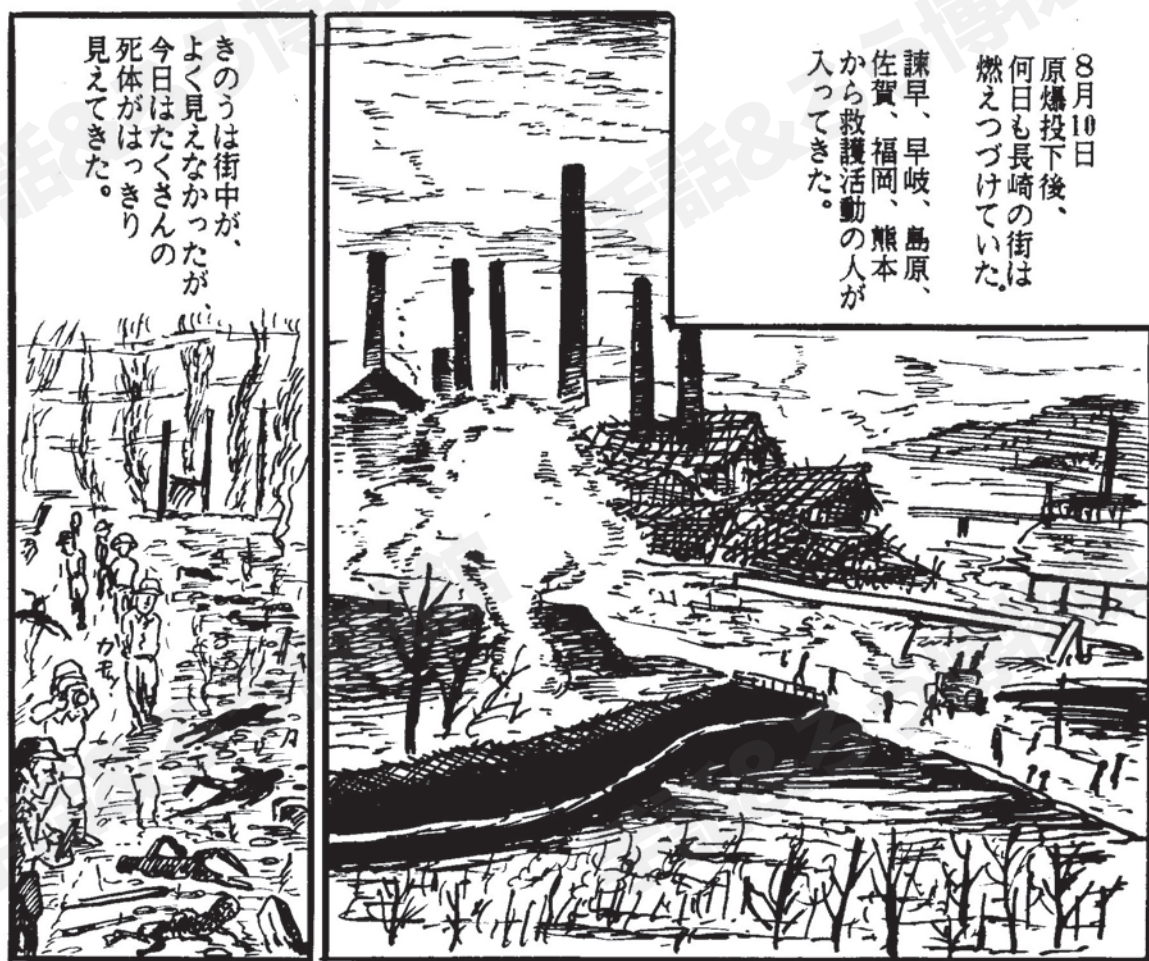


どうか
無事でいて
ほしい



松山付近で

なんて
かわいそうな
ナムアミダブツ





鉄砲作りの
機械がとけて
黒くなった



盲啞学校卒業生たちは
学校時代のたのしかったことを
思い出して悲しんだ。



11日
ローアの
坂口さんは
盲啞学校を
見に行った。
ろう学校の
屋根がない
信じられん

あの日、盲啞学校では
多比良校長他職員2名
生徒7名の原爆犠牲者
を出した。



両親は
骨と歯の形が
似ているので
娘だろうと
思いました。
私はショック
でした。



栄子さんは
足をけがして
時津に。
父母は
また娘を
さがしに
でかけた。



ただいま

11日

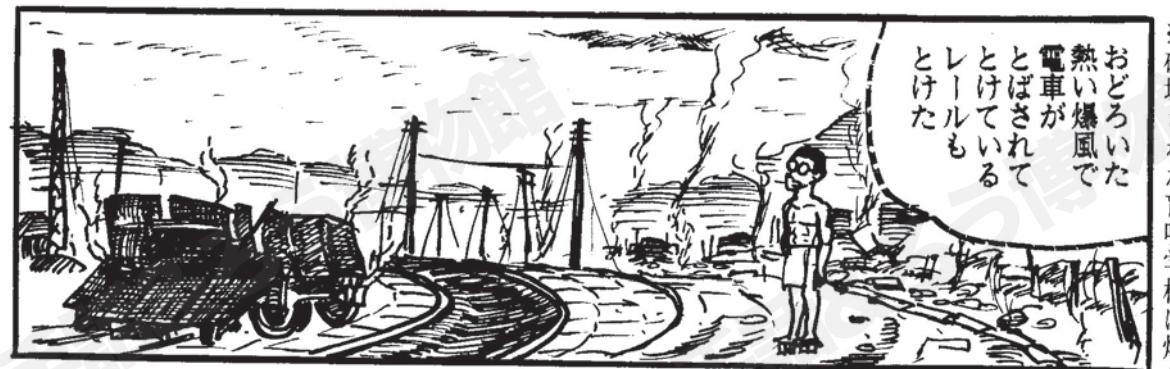


数日間も
救護活動で
つかれたな



ひどい
においで辛くて
たまらない

たくさんの死体を
焼いて火葬にした。



おどろいた
熱い爆風で
電車が
とばされて
とけている
レールも
とけた



浦上天主堂は！
盲啞学校は！

※破壊された盲啞学校は爆心地から五百メートル。

数日後、会社の技師らを連れ、
出口さんの父さんが帰って来た。



多勢で倉庫の戸を
叩き壊し
焼いた中にあった
かんづめを食べよう

原爆後、食料不足
飢えて盗む人が
ふえた



ビカの時
工場で鉄骨が
落ちて、背から
足までひどい
けがをした

痛そうだね
かわいそうに



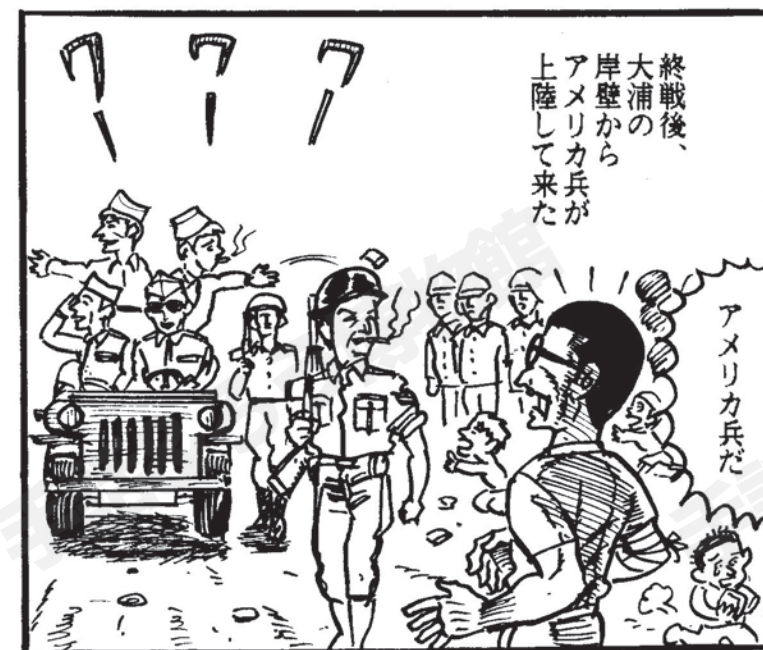
すごい下痢して
苦しい

薬のかわりに
アロエを
飲みなさい

8月15日 終戦の
ニュースがラジオから
伝えられた。



なにを
ないて
いるのかな



終戦後、
大浦の
岸壁から
アメリカ兵が
上陸して来た

アメリカ兵だ

なぜ
アメリカ兵が
来た？



日本は
敗けた！

驚いた
知らなかった



ローア者の中には終戦のことを
おそくなって知った人が多かった。



武器ヲ
持タナイ兵隊ノ
姿ハミジメダ

外人捕虜は解放された。

捕虜タチヲ
イジメタナ
許サン



すまん



前の会社が原爆で
やられて 生活が
苦しくなった
新しい仕事も
みつからん

米軍が復旧工事を
しているから
紹介してあげよう



私が監督ダ
一日十円トパン
一個ヲ支給スル





原爆投下後、1～2年は、原爆の
実態を知らないろうあ者が多かった。



Ⅰ、急性原爆症 (被爆後、約4ヶ月位まで)

外傷による出血死、熱線による
火傷で死亡、外傷、熱線のない
放射能障害(脱毛が多い)の死
亡、下痢、敗血症、白血病など

Ⅱ、原爆後障害及び後遺症 (4ヶ月以降～現在、未来)

外傷、火傷による障害が長く残
り、現在にもおよんでいる。
白血病、ガン、
原爆小頭症、
遺伝的影響(被爆二世、三世...)

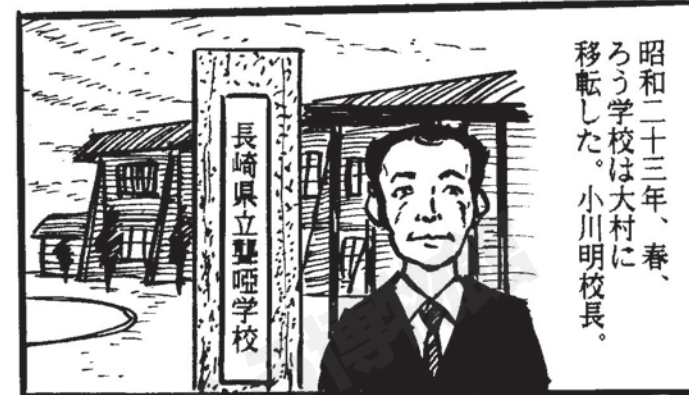




ろう学校も焼けたか、
原爆で焼野原となった
長崎の町…なくなった
ろうあ者たち…気の毒だ



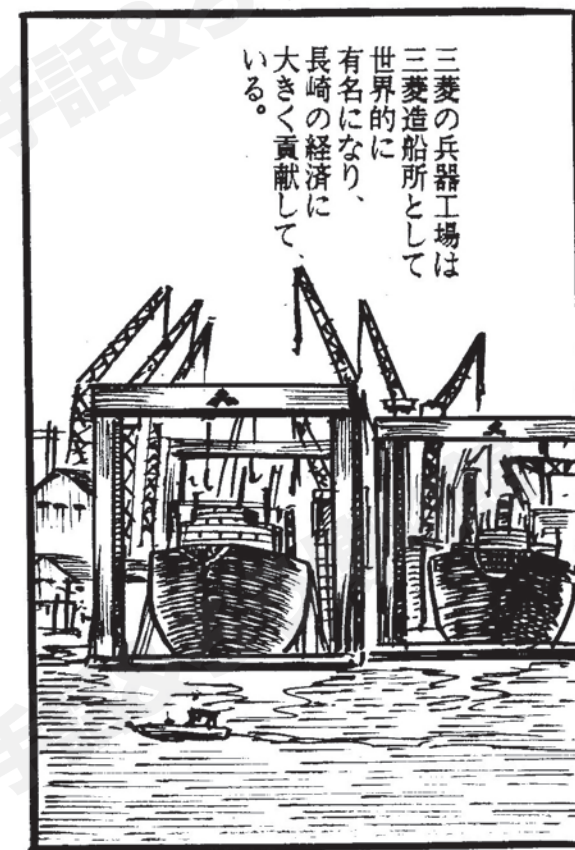
在校生たち
盲啞学校が
なくなった！
どうしよう
大丈夫、
全国のろう学校の
ように、必ず建つ
よ



昭和二十三年、春、
ろう学校は大村に
移転した。小川明校長。



当時の食糧不足を補う
ため、寄宿舎裏の校地で
生産にはげむ。



三菱の兵器工場は
三菱造船所として
世界的に
有名になり、
長崎の経済に
大きく貢献して
いる。



仕事もない、恵まれない
貧しいろうあ者たちが
多い。

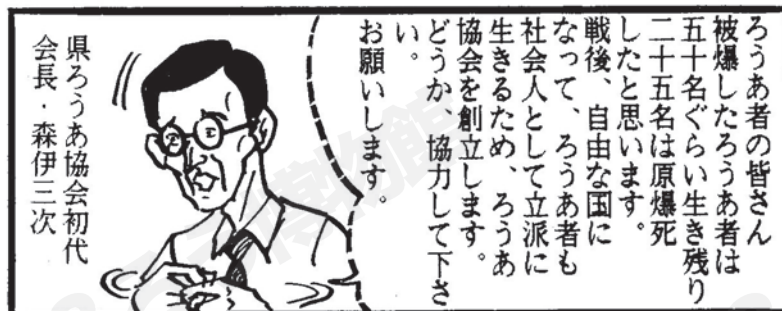
昭和二十二年五月
長崎市内の
ろうあ者たちは、
ろうあ協会を
創立するために
再会しました。



出口さん！
原爆死かと
思っていたよ
よかった
何年ぶりか
同級生の
山崎さん！



山崎くん
ぼくの顔を
覚えて
るか？
ほっ
坂口先輩だ
栄子さん
きのこ雲を
みたか
菊地さん
恐ろしいもの
をみたよ
顔をわすれた
か 結城だ



ろうあ者の皆さん
被爆したろうあ者は
五十名ぐらい生き残り
二十五名は原爆死
したと思います。
戦後、自由な国に
なつて、ろうあ者も
社会人として立派に
生きるため、ろうあ
協会を創立します。
どうか、協力して下さ
い。
お願いします。
県ろうあ協会初代
会長・森伊三次

二才の時から、目・耳・口が不自由な三重苦の
ヘレンケラー女史は、二十四才の時、ラドクリフ大学を
卒業。愛読書は聖書でした。「神は、私の目、耳、口の
働きを奪つて、私に、目、耳、口の不自由な人々を助け
ようとしたのです。」
心清い者は、
だれでも神に
近づくことが
できる」と
熱心な
クリスチャン
(プロテスタ
ント)です。
テンプル大学
(神学校)から
人権博士号を
おくられた。
グラスゴー大学
から法学博士号
をおくられた。
三十三才から
身体障害者の
救済運動の
講演旅行に
四十年以上
世界中を回つた。
映画への出演、
著書の出版・講演など。
「身体障害者の人々が
国民の一人として、自力で生活をし、社会に貢献
していけるように指導すべきだ。」と説きました。
昭和二十三年十月、第二回の日本各地を講演旅行し、
生徒代表が大村で女史に花束を贈呈。障害者のために
日本政府に身体障害福祉法の制定を呼びかけて、
昭和二十五年四月一日に公布された。



(坂口さんの証言)

※盲啞学校跡地の近くに如己堂があった。

長崎市三菱会館で
ヘレンケラーの
講演会。

聞こえない、協会は
創立したばかりで手話
通訳がない
残念だ。



坂口

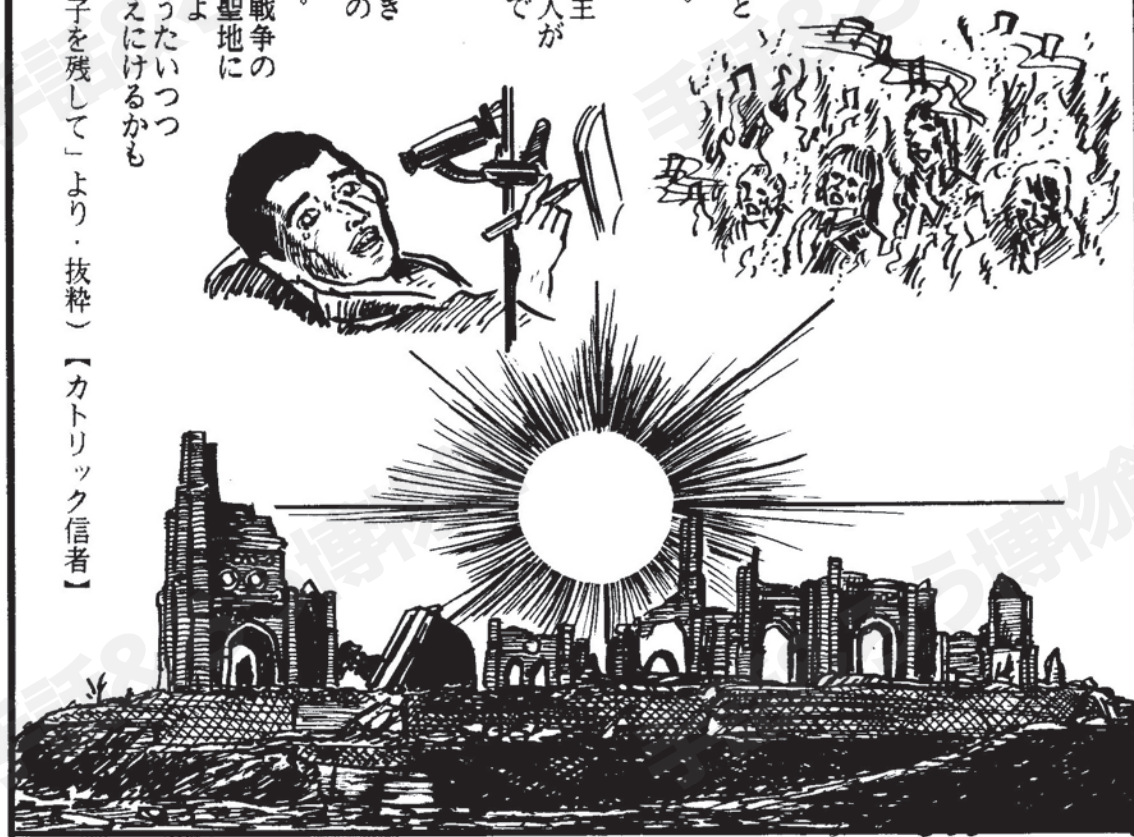
ヘレンケラー女史は、永井
博士の「如己堂」を訪問。



同じキリス
ト者として
今日の会見が
天国まで
続くのです。

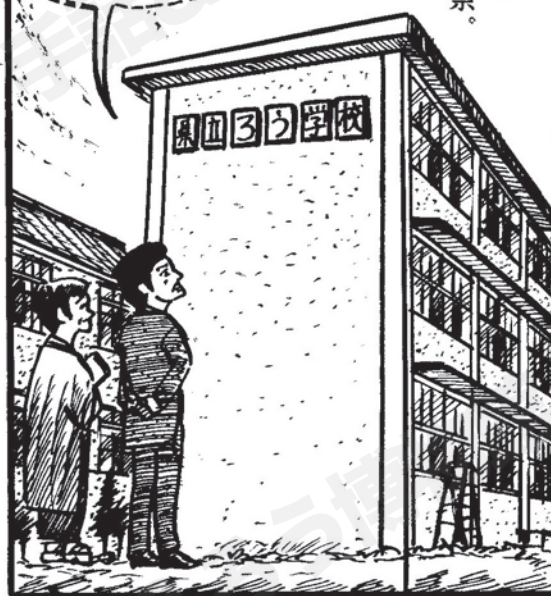
播理

主の御名はつねに
賛美せられよ！
天主は愛する人間を
創造になった。
天主はつねに私を
愛し、私の幸福を
願っておられる。
あたえたものが愛の
思召によるものであると
同じく取りたもうの
天主の愛の思召による。
天主の愛の播理の
あらわれである。
原子爆弾で浦上の天主
教徒一万人のうち八千人が
死んだ。燃ゆる火の中で
讃美歌をうたいつつ
次に息絶え灰になつて
いった。
神の祭壇にけがれなき
小羊をささげ燃して神の
御意を安らげた。
燔祭さながらであった。
ああ、第二次世界大戦争の
最後の日、長崎浦上の聖地に
燃された大いなる燔祭よ
燔祭の炎のなかにうたいつつ
白百合少女燃えにけるかも
(永井 隆 著「この子を残して」より・抜粋) 【カトリック信者】



昭和44年秋
大村の聾啞学校
70周年記念文化祭。

戦前の長崎の
盲啞学校より
大村は校舎も
運動も広々して
いいなあ
生徒もふえて
設備もよく
なったものだ。



わたしも
ろう学校を
出たろうあの
お前も
ろう教育で
立派な人間に
なるように
頑張りなさい。
わかった
父さん

坂口さんのろうあ息子



今の子供達は
戦前の盲啞学
校のことも原
爆のことも
知らない
だろう
当時の僕、この
マンガの作者です。



昭和53年 春 第27回
全国ろうあ者大会
長崎県ろうあ協会
六代会長 坂口忠男
(昭和45〜60年3月)
全国からお集まりの
皆さん。長崎によろこ
そ。心から歓迎します



本大会の目的は、
全国の聴覚障害者
が手をたずさえて
社会的自立と地位
の向上及び、
福祉の増進を
求めて豊かな
社会の建設に
寄与するため
開くものです。
長崎の
公会堂で
二千人ぐらい。



全日本ろうあ連盟
理事長のメッセージ。
全国にろうあ者は
40万人いるといわれて
います。しかし、
ろうあ協会会員は
一万五千人です。
社会福祉や文化
生活の向上のために
皆さん積極的に
会員になって下さるよう
拡大に努めましょう。

被爆四十周年
昭和六十年 春
長崎の平和公園で。



爆心地公園で。

栄子さんの実家のあった
所が爆心地より百メートル
位とは、栄子さんは
知らなかった。



現在、山崎普憲
長崎ろうあ協会会長
心身障福祉センターの
ろうあ相談員

あなたは
ひどい体験したね
両親、親戚たちを
全部亡くした。

山崎栄子（旧姓 本多）



戦後、
ろうあ者たちは
両親をなくし、
仕事をなくし、
不幸な苦しい
生活が続いた
のです。

「なんとかして
ろうあ者が
福祉によって
恵まれたくらしが
出来るように
そんな長崎に
したい」と
主人は和裁の
仕事をやめて
ろうあ者たちの
ために
市役所の福祉係に
入って
安い給料で
働きました。
そして、二十年が
すぎました。



のどが乾いてたお母さん
おには おまのようなおか
一面に浮いていました。
どうしてもおまが泣いて
どうしようもない
おまの泣き声は
おまの泣き声

（平和公園）

仕事を始めたころ
ろうあ者のこと、
理解が出来なくて
本当に困った。
努力して手話を
覚えた。

うそだ！
話が出来る
私はろうあ者だ



戦争を知らない
若者たちは、
今、福祉で、
国民年金、免許許可、
ミニファックス、
割引、手話通訳者の
手伝い……など、
恵まれている……

戦争のこと、原爆のこと
知らないで……



よし、
全国のろうあ者たちに
原爆体験を知らせよう
原爆手話教室と本を作ろう

手話通訳問題研究



手話通訳問題研究、
長崎支部の宮本美子さんは
ろうあ被爆者の
手話通訳に努力したり、
本を作ったりした。



出口武雄さん
四十年過ぎて 元気に
仕事をしている

戦争中の
軍隊は
命令ばかりで
苦しかったな



平和祈念式典に
招待状が来ましたよ

聞きたくない
行きたくない



八月九日の原爆の
悲惨な姿が頭から
消えたことがない



たすけて
水



わかった
わかった



水がない
のだ どう
することも
できない



焼魚はみたく
ない、あの日
を思い出す



時々、胃と腸が
痛くておかしい
のです
昔は、80キロ
だったのに
今は、56キロ！



異状はない

毎年、夏になると
熱い風呂がきらい
で水を浴びています
原爆当時のことは
思い出すのも、大変
怖かったもので、あれ以
来話をしたことは
ありませんでした。



出口の妻

菊地さんは年をとって
胸に水がたまると熱がでる
原爆症ではないかと不安
になる



あの時、爆風
でやられて
背骨が曲がった。

被爆者と
認める。
被爆者健
康手帳を



毎年二回ぐらい
健康診断を
受けるろうあ者が多い

第二次世界戦争の戦死者数 (60年8月の朝日新聞調べ)

日 本 三百万人以上
アメリカ 四十万人以上
ソビエト 二千万人以上
ユダヤ人 六百万人以上
ドイツ 四百五十万人以上
イギリス 三十万人以上
その他

この地球上から 四千万人以上の
人がなくなつた。
そして、それ以上の人が被害を
受けた。愚かな戦争のむなしさを
知るべきである。

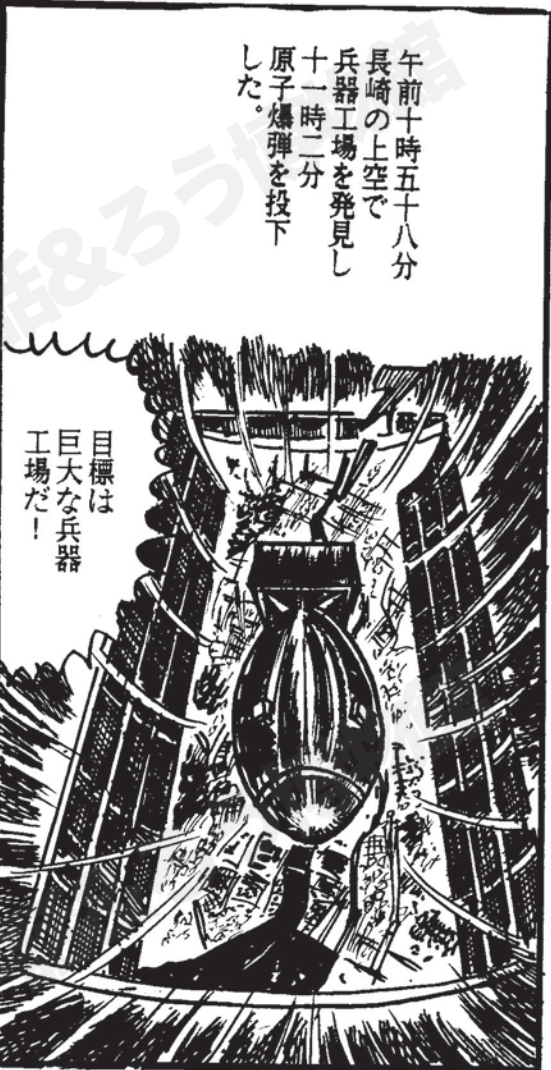
アメリカでのマンハッタン
計画は広島、京都、新潟、
小倉、長崎と 五都市を
目標にしていた。



八月六日、広島に原爆投下し
八月九日、午前八時 小倉で
投下する予定だったが、雲が
厚かったため、Uターンして
長崎に向かって飛んだ。



午前十時五十八分
長崎の上空で
兵器工場を発見し
十一時二分
原子爆弾を投下
した。



目標は
巨大な兵器
工場だ！

核弾頭の保有量機数

アメリカ	25000発
ソビエト	26000発
イギリス	700発
中国	700発
フランス	500発

長崎型原子爆弾 ファット・マン

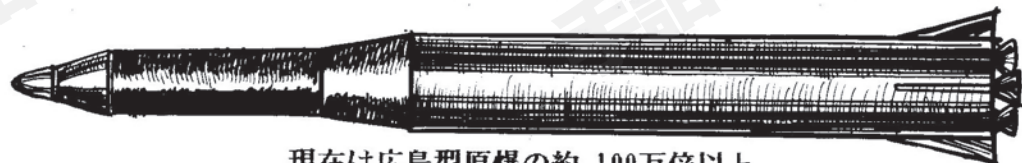


3.25m・4.5ト
TNT火薬 2.2万ト
(プルトニウム爆弾)

広島型原子爆弾 リトル・ボーイ



3m・4トン
TNT火薬 1.3万ト
(ウラニウム爆弾)



現在は広島型原爆の約 100万倍以上

防衛のため
仕方がない



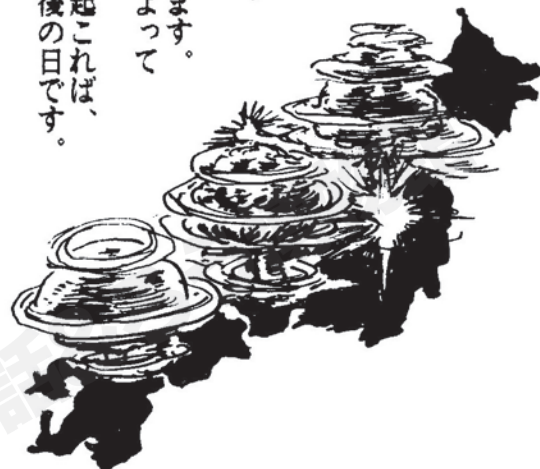
税金のムダ使い！
軍事費けずれ！
第二次大戦前と
同じだ！

現在の日本の首相



日本の安全のため
軍備は必要です

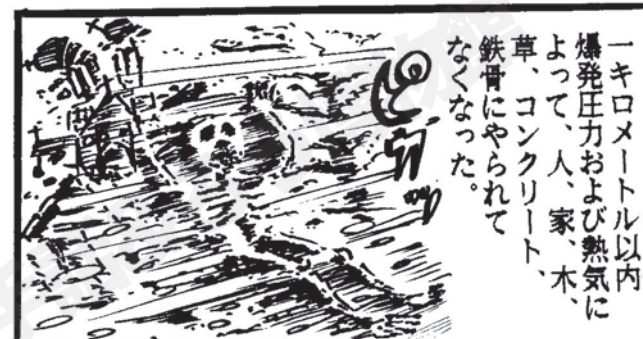
目標は軍事基地の
ある日本だ！
3〜5発の
核ロケットにより
北から南までの
日本列島の滅亡は
明らかです。
もう救護活動の
方法がありません。
現在、世界に
5万発の核があります。
世界中が核戦争によって
人類は滅びます。
第三次世界大戦が起これば、
最終戦争、人類最後の日です。



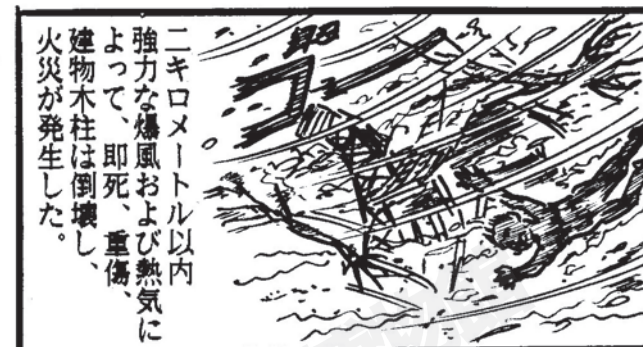
もし、核ロケットで
3〜5発発射したら



当時のB29は、
テニアン島から
六時間かかる。
核ロケットは、
15〜20分で来る。



一キロメートル以内
爆発圧力および熱気
によって、人、家、木、
草、コンクリート、
鉄骨にやられて
なくなった。



二キロメートル以内
強力な爆風および熱気
によって、即死、重傷、
建物木柱は倒壊し、
火災が発生した。



四キロメートル以内
爆風に伴う飛散物に
よって重軽傷を負い、
熱気により、火傷し、
半壊木柱は焼失した。



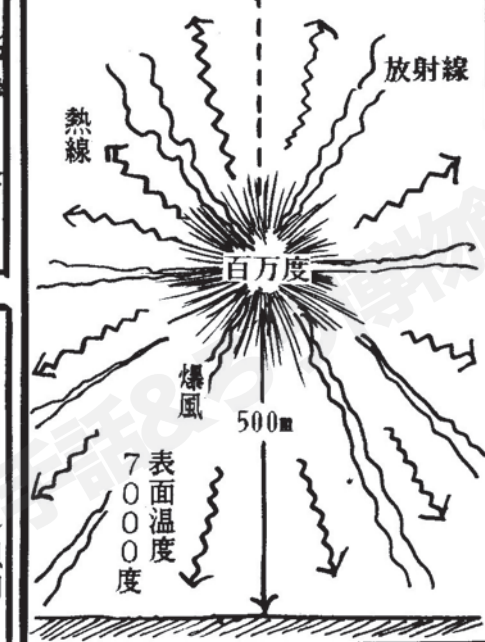
長崎は山が多い。
地形のため広島に比べ
死者七万人、負傷者
七万人余りとなった。



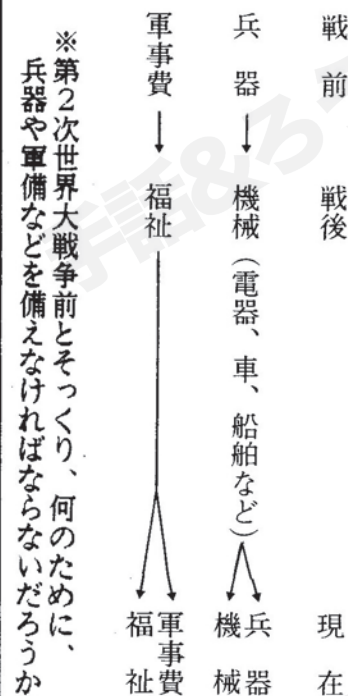
広島は平野で
しゃへい物がないため、
十四万人の人たちが死亡した。



B29は長崎の上空
一万mから原爆を投下
地上五百mで炸裂した。
明るい大閃光を放ち巨
大な火球であった。
人々はビカドンと
表現した。



「彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し、国は国に向かつて剣を上げず、二度と戦いのことを習わない。」
という聖書の言葉は、ニューヨークの国連本部に、掲げられています。



※第2次世界大戦前とそっくり、何のために、兵器や軍備などを備えなければならぬのだろうか。

平和がないのに
「平和だ、安全だ」と
言っている。
ある人たちは、
「平和!」と
叫んでも求めても、
答えられない。

平和をつくる者は
幸いです。
その人は神の子どもと
呼ばれるからです。

【聖書】



佐世保ローア・バプテスト教会で (昭和51年から)



讃美歌の手話

健聴者の牧師

被団協代表
山口仙二氏



世界の皆さん
長崎の声を聞いて
下さい。
全国三十七万人の
被爆者が苦しみ
の中に年々
いさます。
私たちは、核兵器
廃絶と非核三原則を
訴えて、世界平和の
実現を叫び続けて
います。
もし、今、核戦争が
起これば、地球も
人類も滅亡します。
未来のために平和を
願って、これからも
力をつくします。

(昭和六十一年
長崎原爆忌平和
宣言より抜粋)



長崎市長・本島 等氏

被団協代表
山口仙二氏



三百回以上の
核実験は許せない
原発事故も
起きている。
被爆者たちは
不安な毎日だ!
米ソ会談は、
原爆投下後、
四十年目にして、
初めて行われた。
四十年間、被爆者
たちは後障害の
ため、苦しみ
悲しんで
たくさんの方が
なくなりました。
被爆者援護法で
国家補償を
してほしい。
私は命の続く限り
世界中を回って、
平和を訴える。

長崎市長・本島 等氏

ローアの出口武雄氏



あー二度と
あんな目に
あいたくない!
ひどい悪夢だ
思い出
したくない
あの時の
恐怖感が
頭から離れない
全国のろうあ
皆さん、
広島、長崎
ろうあ被爆体
験者の気持が
わかりますか
私は手話で
被爆体験を
言い伝えます。



ローアの山崎栄子さん

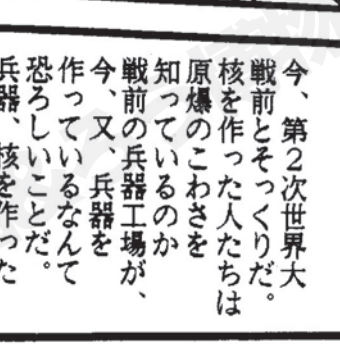
ローアの出口武雄氏



今も額やひざに
傷が残っている。
ひどい体験を
したものだ
この苦しみは
言いつくせない
核を作った
愚かな人たちは
被爆者の毎日の
不安な気持ちが
わからないのか
四十年間、
地獄図が頭から
離れない。
二度と
あのような
ことがない
ように。

ローアの山崎栄子さん

ローアの菊地 司氏



今、第2次世界大
戦前とそっくりだ。
核を作った人たちは
原爆のこわさを
知っているのか
戦前の兵器工場が、
今、又、兵器を
作っているなんて
恐ろしいことだ。
兵器、核を作った
人々は滅びることを
知らないのは
愚かなことだ。
二度と作るな!



ローアの菊地 司氏



昭和22年5月 ろうあ親友会 青年部
(全員・ろうあ被爆者たち、50名ぐらい)



(左から 坂口、栄子、出口、菊地)

昭和61年7月 生き残ったろうあ被爆者たち
(現在15名ぐらい)



昭和61年4月 原爆で、
滅んだ長崎県立盲啞学校
跡地の隣に再び、
心身障害児療育指導
センターが
設立された。



ああ、神よ
この平和な長崎に
二度と原爆の悲惨さが
繰り返されないように……

※昭和三十四年、再び浦上天主堂が建てられた。

1986年8月



○ 発行日 1986年10月
○ 著者 池田杉男(ろうあ者)
○ 住所 (お問合せ・申込)

○ 協力 ●長崎県ろうあ福祉協会
長崎市魚の町5番1号 心身障害者福祉センター内
●佐世保ローア・バプテスト教会
長崎県佐世保市有福町536番地63
○ 印刷所 昭英印刷所
長崎市坂本町10-25
TEL 0958-44-0231

領価 ￥400 送料別途
(落丁・乱丁はおとりかえいたします)